

しもやま

下山地区データ（11月1日現在）
人口 **4,147** 人 (-74)
男性 2,063 人 (-31)
女性 2,084 人 (-43)
世帯数 **1,661** 世帯 (+5)
※（ ）は、前年同月比

支所だより

Vol.212

令和4年12月15日発行



WRC開催！下山地区みんなで応援しました！

11月12日（土）、世界ラリー選手権（WRC）が三河湖周辺で開催されました。

羽布町に設けられた観戦エリア内では、しもやまラリーイベント実行委員会が、PRグッズの配布やイベントステージで盛り上げるなどおもてなしを実施しました。また、下山中学校の生徒もボランティアとして参加し、ごみ拾いを行いました。

太田市長は「世界中見ても紅葉がきれいなコースはない。この日本の原風景の中を疾走するラリーカーを見てもらい、美しさや暮らしを再認識する機会にしたい」と下山地区の魅力について語りました。

また、実行委員会の安藤実会長は「ラリーを契機に、多くの方々に、下山の田園風景などの魅力を知ってもらうことができ良かった」と話しました。



<しもやまっ子がWRCを応援！>

ラリーカーが一般道を移動するリエゾン区間では、下山地区内の園児や児童たちが、懸命に旗を振り、間近に走るラリーカーや選手に大きな声援を送りました。

WRC開催を契機に、子どもたちが下山地区に愛着を育み、地域で活躍する取組につながりました。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。



令和5年度わくわく事業募集のお知らせ

令和5年度わくわく事業の募集期間は以下のとおりです。

令和4年12月12日（月）～令和5年1月31日（火）

<時間・場所> 午前8時30分～午後5時15分(平日のみ)・下山支所 地域振興担当

申請書類の書き方など、事前相談を受け付けております。

E-mailやお電話でも、お問合せ可能ですのでお気軽にどうぞ！



▲詳細は、豊田市ホームページをご確認ください



編集・発行／豊田市役所下山支所／毎月15日発行／〒444-3242 愛知県豊田市大沼町越田和37-1
TEL 0565-90-2111／FAX 0565-90-3344／E-mail shimoyama-shisho@city.toyota.aichi.jp
地域記者を募集中！あなたの伝えたい地域情報を支所だよりに掲載しませんか！



しもやまスマイルアワード受賞者の紹介

10月30日（日）、しもやまスマイルフェスタで地域を笑顔にする取組を称える「しもやまスマイルアワード」の表彰式が行われました。受賞者からいただいたコメントを一部紹介します。

▼受賞者の集合写真

※写真左から順番に



【しもやまスマイル特別賞】

- ・しもやま 和太鼓 雅

【しもやまスマイル大賞】

- ・しもやまラリーイベント実行委員会
- ・根本 清子さん

【しもやまスマイル賞】

- ・巴太鼓保存会
- ・武藤 富保さん
- ・中川 紘太郎さん

【しもやまスマイル大賞】根本 清子さん

子育てグループ「かれんママ」の運営をはじめとして、子育て世帯の親同士が会うきっかけづくりに努めてきました。私自身、移住してきて3人の子育てをしてきた経験から、親同士のつながりが大事だと感じました。今は里楽暮住（りらくす）しもやま会でも、子育て世帯に寄り添う委員でありたいと思って活動をしています。



【しもやまスマイル賞】中川 紘太郎さん

阿蔵地域念仏踊りに参加しています。祖父と父も踊り手で、今年は3世代で一緒に踊りました。念仏踊りの一番大変なところは、約5kgある太鼓を持ちながら動き回るところです。また、演奏曲もたくさんあり、覚えるのも実は大変！ただ、来年も踊り手の皆さんと作り上げる念仏踊りをやるのがすでに楽しみです。



ふるさとの風景を守る「羽布の里・自給家族」



▲KINOファーム
ホームページ

KINOファーム木下代表をはじめとする有志が、新しい農地保全の取組「羽布の里・自給家族」を始めました。

この取組は、高齢化・過疎化に負けず「米作りを続けたい」農家と「安心安全なお米を毎日食べたい」消費者が直接契約し、「同じ田んぼの飯を食べることで、ふるさとの景色を守る家族」になるものです。

木下代表は「この美しい羽布の景色を守っていくために、仲間と協力して頑張っていきます。応援よろしくお願いします！」と語りました。

現在、お米の保冷庫を購入するためクラウドファンディングで資金の協力を募り、2023年2月から自給家族の募集が始まります。

取組の詳細は、KINOファームのホームページをご確認ください。



令和4年分の確定申告に関するお知らせ

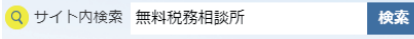
確定申告書の作成・提出は、パソコンやスマートフォンからアクセスできる国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」が大変便利です。

豊田市役所や下山支所では確定申告の相談・受付はできません。各地区の無料税務相談所または確定申告相談会場（豊田市福祉センター）をご利用ください。

詳しい日程及び予約方法は、「広報とよた1月号」または豊田市ホームページをご確認ください。

○無料税務相談所

インターネット及び電話による事前予約制（先着順）です。

| | インターネット予約 | 電話予約 |
|------|--|------------------------------------|
| 受付開始 | 令和5年1月11日（水） 午前9時から | 令和5年1月16日（月）以降 会場ごとに設定された予約受付日時 |
| 受付方法 | 豊田市ホームページから 予約システムにアクセス  | 豊田市役所 市民税課 (0565-34-6617)へ電話で予約 |

【問合せ】豊田市役所 市民税課 電話0565-34-6617（直通）



わくわく事業団体の紹介

●水曜会（加藤 博乃 代表）

内容：下山地区町名看板更新事業（2）

【代表メッセージ】下山地区内に設置されている町名看板について劣化したものを更新しています。皆さんは自分の町の看板がどこにあるかご存じですか。看板がもし汚れていたら、是非掃除してあげてください。看板が住民の町名に対する愛着を育み、地区外の方へのPR効果を生むことを期待しています。



▲更新された看板



▲団体の活動の様子

●大沼支障木整備部会（柴田 吉久 代表）

内容：大沼町地内の支障木整備

【代表メッセージ】今年度は、大沼3・4・5組にて支障木伐採を行いました。業者に高所の伐採作業をお願いして、周辺の伐採や片付けは地元住民で行いました。地区内の景観向上だけでなく、連帯向上にもつながったと感じております。

WRCで今年は、地域が盛り上がり、観光客誘致のためにも環境整備は続けたいと思いました。



▲団体の活動の様子（左：大沼3組、右：大沼4組）



社協下山支所だより
まどいの丘

連絡先：TEL0565-90-4005 / FAX0565-90-2419

住 所：豊田市神殿町中切7番地2

M A I L：shimoyama@toyota-shakyo.jp

身体も心も元気で暮らそう



健康・福祉



しもやまスマイルフェスタ 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金

令和4年10月30日(日)

街頭募金に

17,126 円

ご協力いただきました。



10月30日しもやまスマイルフェスタに参加いたしました。
赤い羽根募金、歳末たすけあい募金、街頭募金を中学生のボランティア2名と高校生1名(下中卒業生)の3名で行いました。
多くの皆様のおかげで協力ありがとうございました。



ゲーム クイックステップトレーナー

目と足を鍛えるゲームです。

多くの方に参加いただきました。

参加いただいた方には、「まどいの丘デイサービス」の利用者の方が作成の アクリルタワシ・紙のごみ箱・ローズマリーの苗木 をプレゼントしました。

フードドライブ

- ・常温で保存できるもの
- ・未開封のもの
- ・賞味期限が2か月あるもの

お菓子・調味料等いただきました。
生活困窮者への食糧支援に役立てさせていただきます。



まどいの丘デイサービスのロゴ
ができました

テーマ募金 令和5年1月1日～3月31日

「コロナ禍や物価高騰における生活困窮者への食糧等支援」ご協力お願いいたします

ご協力 ありがとうございます

しもやまスマイルフェスタにて寄付金を頂戴いたしました。

・花山商店 2,000 円 ・がらくた市 4,345 円





下山交流館だより

連絡先：TEL0565-91-1650 / FAX0565-91-1030
 H P : <http://ph-toyota.jp/guide/shimoyama/>
 開館：午前9時～午後9時
 休館日：月曜日
 (祝日、振替休日を除く)



多くのご来場
 ありがとうございました！

オープニングは
 下中吹奏楽部♪



▲芸能発表



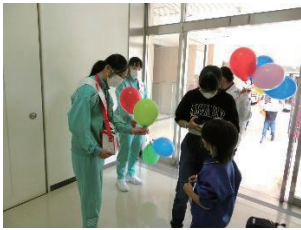
▲作品展示



▲販売



▲WRC ラリーブース



▲中学生ボランティア



▲小・中学生の出店



▲かぼちゃ重さ当てコンテスト



▲抽選会

3年ぶりの飲食出店や、初めて出店、展示、芸能発表をする団体も多数あり、例年を上回る盛り上がりでした！ボランティアスタッフとして多くの中学生、高校生、一般の方の参加もありました。皆様のおかげで無事に開催できました。ご参加、ご協力ありがとうございました！

講座案内

ハンドメイド講座 はぎれでコサージュ作り

- 日時 1月27日(金) 10:00~12:00
- 場所 下山交流館 多目的ルーム
- 対象 どなたでも
- 定員 10人(先着)
- 材料費 300円
- 申込み 12月20日(火)9:30~



講座報告

日本の和の心 そば打ちを楽しむ



11月11日(金)

参加 12人

講師のデモンストレーションに始まりそば打ちを体験しました。5人の講師は1人ずつ丁寧な説明や指導を行い、参加者は「わかりやすかった」「大変良かった」「美味しかった」などの声が多く大変好評でした。

お知らせ

🐰 年末年始の休館 🐰

12月28日(水)~令和5年1月4日(水)

●忘れ物はありませんか？ ※2月末で処分させていただきます。

水筒(青色)、イヤホン(黒)、ボールペン、キーホルダーなど



【1月のロビー展示】

なごみの会

パッチワーク作品展



3から6歳のお

炭焼き

絵文字がむらむらこい



今では炭火は特別な火だけれど、昭和30年代に石油やガスが入るまで燃料は薪や炭だったよ。

山の木を炭に焼くには木を切る山の低い所で水の近い広さが取れる場所に斜面を利用して炭を焼く窯を作ったよ。炭窯を作るだけで大ききよによって十日から一月かかったよ。木を切つて長さと太さをそろえて



炭窯にきれいに並べて入れる全部手仕事だ。

ギイギイ虫

木の中にはカミキリムシの幼虫が入っていることがあってな。木を割ると出てくる。これはへボウムシやシロアリの子と同じで焼いて食べると目やなほっぽこした木に、よく見つかるので、兄弟で父ちゃんを手伝いに、行くとほっぽこの木を取り合つたもんだよ。



炭窯が出来て、炭焼きとよ水は白い五平もちを供えて山の神様に安全を祈つてから始めた。火を入れたら丸太やトタンで作った炭小屋で泊つて火の番をしたよ。出来た炭は大沼の間屋へ売つたり、家でも使つたよ。